



# 5月号

## おおやたこども園だより



令和4年4月28日(木)発行  
 足立区立おおやたこども園  
 足立区大谷田2丁目1-9  
 電話 3620-7591  
 FAX 3605-9610

自分も友達も大事にできる子どもを育てるために

園長 小俣 春美

新年度を迎えてひと月が経ちました。新年度は、新入園児にとってはもちろんですが、進級児にとっても、また、保護者の皆様にとっても不安な気持ちがあったと思います。新しいお部屋、新しい先生、新しい友達と先月は、『新しい』ことばかりでした。『新しい』は、期待もありますが、同時に不安もあります。このひと月、子どもたちの様子を見ていて、朝、大好きなお母さんやお父さんとの別れに泣いていましたが、少しずつ泣かなくなって遊び始める子どもたちを見て嬉しく思います。

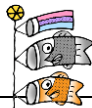
子どもたちは、朝の支度を終えると、園庭に出て遊びを見つけて遊びだす姿が見られるようになってきました。1歳児や2歳児の子どもは、ダンゴムシやアリ、花を見つけては担任に見せに行ったり、側にいる担任に指をさして知らせたりする姿が見られます。見つけて嬉しかったり、楽しかったりすると必ず担任を探して知らせています。その嬉しさや楽しさを受け止めてもらって“安心”を得ていきます。

また、3歳児では、友達におもちゃを取られそうになった話を近くにいた私にも教えてくれたのですが、それでも「あ、先生にも教えてあげないと。」と言って、遠くで他の子と遊んでいた担任にも報告をしに走っていく姿を見て、子どもは心が動いたときには、やっぱり大好きな担任には伝えたいのだと感じました。子どもは、そうした思いを受け止めてもらい共感してもらうことで『信頼関係』を作り、そうした信頼を基に他者との関わり方を学んでいくのだと思います。

おおやたこども園では、これからも、子どもの思いを丁寧に受け止め、思いを聞いてくれる大人との関係を基に自分を大事にそして、友達も大事にできる子どもの育ちを支えていきます。



### 5月の行事予定



日	曜	行事
1	日	
2	月	
3	火	憲法記念日
4	水	みどりの日
5	木	こどもの日
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	学納金集金(4月・5月分4・5歳児)
10	火	学納金集金(4月・5月分4・5歳児)、安全指導、内科健診(1~3歳児)
11	水	避難訓練
12	木	PTA総会
13	金	
14	土	
15	日	

日	曜	行事
16	月	身体測定(1~3歳児)、内科健診(4・5歳児)
17	火	身体測定(4・5歳児)
18	水	尿検査(二次)
19	木	誕生会(4・5歳児)
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	歩き遠足(5歳児)
25	水	
26	木	
27	金	歩き遠足(4歳児)
28	土	
29	日	
30	月	ごみゼロ運動
31	火	個人面談・参観(3歳児・~6/10まで)

お忙しいなか、保護者会(2~5歳児)へのご参加ありがとうございました。

なお、1歳児の保護者会は、6月8日(水)にあります。よろしくお願いいたします。

### 学納金(4・5歳児)集金

月	金額	集金日
4月分	2,400円	5月 9日(月)
5月分		5月 10日(火)

※必ずおつりのないように、ご準備ください。

※学納金の集金日・金額・集金方法は、コドモン→その他→資料室より『学納金集金のお知らせ』を(令和4年4月14日配信)ご覧になってください。

※新型コロナウイルス感染状況により、行事の変更・中止が考えられます。ご了承ください。  
 ※行事内容の詳細や、次月の予定は、“おおやたこども園ホームページ”、保育支援システム“コドモン”のカレンダーよりご確認ください。



### 5歳児 ぞう組

新しい環境にも慣れ、自分の好きな遊びを見つけて楽しむ姿が見られるようになりました。

制作コーナーでは、折り紙やスズランテープ、新聞紙など様々な素材を使い、自分の好きな作品を作り上げています。先日折り紙で折った動物に持ち手の棒をつけて「こんにちは、一緒に遊ぼう」となりきって会話をしていました。やり取りをして遊んでいるうちに「これで人形劇をしてみよう」ということになり、自分たちで必要なものを考え、人形や舞台も作り始めました。人形を動かす人やナレーターなどの役割を決めたり、お客さんを迎えるための招待状作りや会場作りも自分たちで行ったりしていました。テーマが「かぐや姫」に決まると、かぐや姫が何に乗って月へ帰るか、というところで「車だよ」「月が降りてくるんだよ」などと言い合いになる姿も見られましたが、絵本を探して確認し、みんなが納得できる形で物語をまとめました。

5月も友達同士で自分の考えたことを伝え合い、一緒に遊ぶ楽しさを感じられるようにしていきます。

○自分の思いや考えを伝えながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるようにしていきます。

○苗植えや飼育物の世話を通して、身近な自然に興味・関心をもつことができるようにしていきます。



### 4歳児 くま組

新しい友達や保育者などたくさんの『はじめまして』を経験し、大きくなった嬉しさと少しの不安を感じながらも、くま組での新しい生活にも少しずつ慣れてきました。わからない事を保育者にたずねながら、「あれは何だろう」「やってみたいな」と興味のある遊びをしてみたり、友達と笑い合ったりして過ごしています。

ある日、雨どいを傾けて水を流す面白さを見つけて、どうやったら雨どいをうまく傾けることができるのか、どのくらい水を流そうか考えながら遊ぶ姿がありました。日常の中にある子どもの興味や関心、好奇心を大切にしていきたいと思っています。

○自分のしたい遊びを十分に楽しめるようにしていきます。

○保育者や友達と関わりながら、自然にふれたり体を動かしたりする楽しさを感じられるようにしていきます。



### 4歳児・5歳児 かぜの時間



4歳児くま組は、もりのへやで過ごすことを喜んでいますが、先日、室内にある木の家でままごと遊びをしていた子どもが「ジュースほしい」と声を上げたことから、透明カップと京香紙を使ってジュース作りが始まりました。「私はバナナの味にする」と黄色の京香紙を選んだり、「僕はミックスジュースがいい」とオレンジ色や黄緑色など数色の京香紙を一つのカップに入れたり、思い思いのジュースができあがりました。自分で考えて作ったジュースをもって数人で集まり、飲むまねをして楽しんでいます。

5歳児ぞう組も、なかよしルームで過ごすことを喜んでいますが、昨年のぞう組の子どもが楽しんでいた“泥だんご作り”を思い出し、「自分もやってみたい」と挑戦する姿が見られます。「まず、土と水を混ぜるんだって」「こうやってコロコロ転がすと丸くなるよ」など泥だんご作りの本を見たり、友達同士でよい方法を伝え合ったりして遊びを楽しんでいます。

5月は自分の好きな遊びを見つけて楽しむ中で、友達と一緒に砂や土、草花や身近な生き物に触れて遊ぶことを楽しんでいきます。

○好きな遊びを見つけて遊んだり、友達と関わって遊ぶことを楽しんだりします。





### 3歳児 うさぎ組

園庭で遊んでいるとアリやダンゴムシに気が付き、しゃがんでじっくり見ている子どもがいました。そこで保育室にダンゴムシの絵本を用意しました。絵本を見てダンゴムシがどこにいるかを知るとダンゴムシ探しが始まりました。見つけたダンゴムシを手のひらに乗せ「チクチクする」「丸まってる」と感じたことや気が付いたことを言葉にしていました。子どもの気付きに共感したり、見つけたダンゴムシをカップに入れたり子どもたちの発信を大事にしてみました。保育者とダンゴムシ探しをした次の日、「ダンゴムシ探したい」と言葉にしていました。保育者と遊ぶ中でまたやりたいと思える遊びに繋がったようで嬉しく思いました。

進級後、マークシールを自分で選んで決めたことで意欲的に帽子やタオルの収納をする姿が見られています。子どもの姿を言葉にして認め、更に自分でやってみようと思えるように丁寧に関わり、自信につなげていきます。

〇保育者や友達と一緒に、好きな遊びや自然と関わることを楽しんでいきます。

〇保育者と一緒に持ち物の始末や身の回りのことを行い、自分でしようとする気持ちを育てていきます。



### 2歳児 りす組

新しい保育室にも少しずつ親しみを持ち、室内や園庭で好きな遊びを見つけて遊んでいます。園庭では出会いと発見がたくさんあって、「あり、あり」とアリを見つけては、指をさして保育者に教えています。園庭には、アリの他にもダンゴムシもたくさんいます。保育者の手を引っ張って探しに行き、見付けると「いた、いた」と小さな虫を目で追って「ここ」「わぁ(うごいた)」と虫の動きを面白がり、小さな生き物との出会いを楽しんでいます。近くに友だちがいると、指差したり、声を出して子ども同士で伝え合う姿もありました。

子どもたちは、自分の目に見えたことに興味、関心を持ち、見たり触れたり、探してみるなど身近な環境に好奇心や探求心をもって関わっています。一人一人の思いや気づきに共感しながら過ごしていきます。

〇自分の気持ちや要求を保育者に受け止めてもらい、安心して気持ちを表せるようになります。

〇保育者に見守られることで安心感を持ち、好きな遊びを見つけて楽しんだり戸外で体を動かしたりして遊べるようにしていきます。



### 1歳児 ひよこ組



保育者に抱っこされたり、思いを受け止めてもらったりしながら少しずつ安心して過ごせるようになってきました。園庭に出ると興味のあるものを見たり触れたり行きたい場所に行ったり、いろいろな場面で笑顔が見られるようになってきました。お部屋では、保育者と一緒に“いっぽんばしこちょこちょ”などふれあい遊びをしたり、ポットン落としを繰り返し楽しんだりしています。

5月は、一人一人の様子を温かく見守ったり、一緒に遊び、楽しい気持ちに共感したりしながら園で過ごすことが心地よいと感じられるようにしていきます。

〇一人一人の甘えや欲求を受け止め、安心して心地よく過ごせるようにかかわり、信頼関係を深めていきます。

〇保育者に見守られながら、好きなことや好きな場所を見つけて遊びを楽しめるようにしていきます。

